

# HKFA Technical Report



## 2022年度 札幌ブロックトレセン活動レポート

今回は、札幌ブロックでのU12世代のトレセン（以下 TC）の取り組みについて報告します。札幌ブロックは1学年約1000名の登録数があり、その中からどうやってできるだけ多くの選手たちに刺激を与えているのかを、裴潤徳(ペ・ユンド)札幌4種技術委員長に取材したのでご紹介します。

### 1 システム

現在、北海道TCU12は5ブロックから選出された選手たちで年に2回ほど活動が行われていて、札幌ブロックTCはシステム上はその下にカテゴライズされる。ブロックTCはコンサドーレ札幌所属していない選手たちでFP21名GK3名の24名での活動となっている。さらにトピックとして、24名の中に2名の女子選手枠とU11からの飛び級も含まれている。特に女子選手に関しては、男子選手との比較ではなく女子トップ選手2名のレベルアップが最大の目的とされていて、毎年必ず選出をされている。また、札幌ブロックTCだけになると1000名もの選手たちの情報を常に把握することは不可能であるため、その下にさらに地区を4つに分けて地区TCとして活動をしている。各地区TCでは、FP21名GK3名の24名とブロックと同じであるが、女子選手に関しては男子と同じ扱いになる。そのかわり、上記TCとは別に札幌女子TCがあり、女子選手普及の目的のため選考はなしで誰でも参加できる参加型となっている。さらに、少しでも多くの選手たちを見るために、U11から活動を継続的に行なっている。近年までU10から活動してくれていたが、コロナ感染症によるコーチの負担や使用可能な施設の減少などから断念をしているということだった。



### 2 組織図



#### 目的

ブロック TC と地区 TC それぞれに目的を明確にしている。  
ブロック『強化』 地区『強化と普及 コーチの養成』

### 3 取り組み

選手たちへのモチベーションもUPや成長のフェーズがそれぞれで特徴があるため、定期的に選手を入れ替える時期を設けている。各学年で年に2回選考会を開催しながら、伸びてくる選手たちへのアプローチも大切にしていると話してくれた。どこでどんな選手が伸びてくるのかは誰にも予想できない。だからこそ、質と量（回数）の両面でアプローチをしているそう。質はコーチのライセンスを原則B級ライセンス以上として、年に2～3回研修会を開催しながらコーチ自身のレベルアップと選手たちへ要求することなどの共有を図っている。

## 4 後期

12月18日に開催されていたTCマッチデーを視察しました。この日は朝9時から19時まで札幌アミューズメントパーク室内球技場を借り切って、約3時間ごとにそれぞれU11とU12の地区対抗マッチを行い、地区対抗が終わり次第ブロックTCとコンサドーレ札幌U12のマッチを行なっていました。

確かに、地区TCの選手たちの中にも才能が豊かな選手が多くいて、目を見張るものがあったがこういった地道な活動があればこそその賜物でしかありません。さらに、各地区担当コーチに「あの選手はどこの選手ですか？」と聞くと、即座に「どこどこに所属していて、こういった選手です」という回答が得られ、それぞれの活動が滞りなく行われているということが伺えました。さらに、コーチたちはTC活動が終わり次第自チームのトレーニングに向かうコーチがほとんどで、貴重な時間を使って頂きただただ感謝しかありません。

今後も【Player's First】の観点を忘れず活動をして継続しながら、いつの日かW杯で北海道で育った選手たちが活躍をしている姿が見られることを切に願っています。

## 5 TCの2年間計画



- ① 2ヶ月1回のTCマッチデー
- ② 1年に2～3回のコーチ研修会
- ③ 今年度から女子トレセンマッチデーを開催  
(好評を得たため来年度も継続して開催していく予定)
- ④ このほか、U11でも8月に交流大会を開催している

